



## Q & A

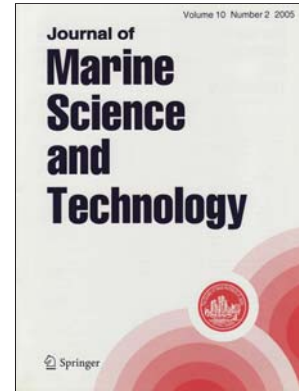
### － 学会について詳しく教えて！！ －

Q：どのような人々や企業が学会に所属しているのですか。

A：造船会社、商船会社、製鉄会社、船級会社を中心に関連企業や研究所が学会の団体員として所属しており、それらの企業の技術者や研究者が個人会員として所属しています。代表的な造船会社と商船会社は、(株)アイ・エイチ・アイ・マリンユナイテッド、(株)川崎造船、住友重機械マリンエンジニアリング(株)、三井造船(株)、三菱重工業(株)、ユニバーサル造船(株)、(株)商船三井、日本郵船(株)、川崎汽船(株)などです。

Q：学会の主たる事業は何ですか。

A：研究講演会の開催と学術論文の発行です。これを核に各種の研究會や研究支援、会誌発行、書籍出版、啓蒙活動などを行っています。また、支部毎に特徴ある活動を行っています。



Q：海外でも活動をしているのですか。

A：2002年にアジア圏の船舶海洋工学系の学協会が集まり、学協会間の協力組織 Pan Asia Association of Maritime Engineering Societies (PAAMES) が設立されました。日本船舶海洋工学会はその中心的な役割を担っています。PAAMESを軸にして、定期的に国際シンポジウムや国際ワークショップを開催しており、多くの大学生(各国の学会の学生員)がこれらの場で研究発表を行っています。



さらに詳しい活動内容についてはホームページにアクセスするか、学会事務局(関西支部事務局)にお問い合わせ下さい。

## 入会するには

### － いっしょに夢を語り合しましょう －

学会のホームページ ([http://www.jasnaoe.or.jp/about\\_us/admission.html](http://www.jasnaoe.or.jp/about_us/admission.html)) から入会申込書をダウンロードし、所定の事項を記入して学会事務局(関西支部事務局)に郵送して下さい。または在籍する大学の船舶海洋工学系の教員にご相談下さい。学生員の入会金は無料、年会費は2,000円です(正員の年会費は8,500円)。学生員は正員と全く同じサービスを受けられるほか、各種の割引が適用されます。

#### 社団法人 日本船舶海洋工学会

〒105-0012 東京都港区芝大門2丁目12番9号 浜松町矢崎ホワイトビル3階

URL: <http://www.jasnaoe.or.jp/>

なお、本募集案内に関するお問い合わせは、関西支部事務局までお願い致します。

#### 関西支部事務局

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1

大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻船舶海洋工学部門内

TEL 06-6879-7593 FAX 06-6879-7594 e-mail [office@kansai.jasnaoe.or.jp](mailto:office@kansai.jasnaoe.or.jp)

表紙絵(パステル画) 正員 塙友雄

(2007年3月作成)

# 学生員 募集案内



# 日本船舶海洋工学会は未来の技術者・研究者の良きサポーター

## 大学生の皆さんへ

— 学会員として大いに活躍しましょう —

日本船舶海洋工学会は、日本の船舶工学及び海洋工学を代表する唯一の学会です。1897年に設立され、100年以上の歴史を有し、会員数は4,000人を超えます。会員は、企業や大学の技術者・研究者・学生などから構成され、それぞれの専門性を生かしながら、当分野の学術的、技術的な発展に貢献しています。学会とは、英語名(The Japan Society of Naval Architects and Ocean Engineers)が示すように、「人:Architects, Engineers」の集まりです。人々が集まれば、いろいろな「場」が形成されます。技術者・研究者の語らいの場、研究発表や意見交換の場、技術向上の場、研究成果発信の場など、これらさまざまな場を通じて、学会は社会の発展に寄与します。

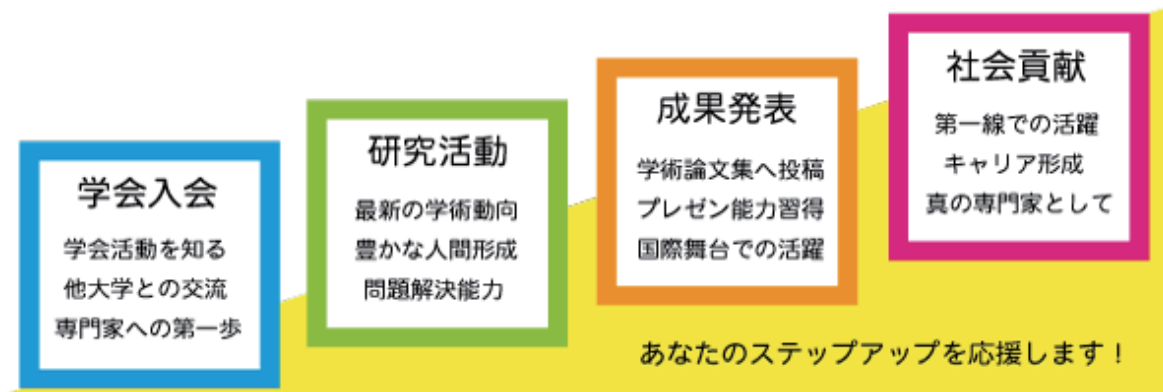
ぜひこの機会に日本船舶海洋工学会に入会し、社会の発展のために大いに活躍しましょう。



## 学生員のメリット

— 自己研鑽の場を提供します —

- ★ 企業は、皆さんが学生員として学会活動に参加することに大いに注目しています。学生員であることや学会活動に参加したことは、就職の際に履歴書に記述することができます。
- ★ 年6回発行の学会誌「KANRIN」と年2回開催される定期講演会の講演論文集が無料で配布されます。この分野の最新の科学技術をウォッチすることができ、幅広い知識が身につきます。講義レポートの作成や研究遂行に役立ちます。
- ★ 学会が主催する講演会で研究発表ができます。講演会には学生ポスターセッションもあり、学生が研究発表を行いやすい環境を整えています。このような研究発表を通じて自己研鑽ができます。
- ★ 学生ポスターセッションで研究発表が優秀と認められれば、各種の奨学金の申請に有効となります。
- ★ 学会が主催する講演会やイベントに無料または学生員割引で参加できます。関連する書籍やデータベースを学生員割引で購入できます。勉強や研究に必要な参考書や資料の入手に有利です。
- ★ 学生研究会の活動が学会の支援の下に行われています。この活動を通じて大学をこえた学生のコミュニケーションの輪が広がります。
- ★ 講演会、イベント、学生研究会による活動には、社会の第一線で活躍している人々が参加します。これらの人々と交流を持つことができます。



— 勉学・研究・就職をまじめに応援します —

## 学生研究会

— 学生が主体となって社会に貢献します —

関西支部<sup>\*)</sup>には、学生が主体となって組織するKFR jr.とKSSG jr.の2つの学生研究会があります。運営は大学院生が行っていますが、学部生でも自由に参加できます。「jr.」が付くのは、流体力学の問題を扱う研究会:KFR(Kansai Fluid Research group)と、構造力学の問題を扱う研究会:KSSG(Kansai Ship Structure research Group)の支援を受けているためです。大学をこえた学生の交流と、学生自身の研究の質を高めることを目指し、学生にとって有益な各種のイベントが、学生自らの手で行われています。主なものは次の通りです。

### 研究ポスターセッション

卒業研究などをポスターにまとめ、企業・大学のその分野の専門家に参加いただき活発な討論を行います。いろいろな視点から意見が得られるので、将来の研究の発展や改善に役立ちます。

### 就職セミナー

船舶海洋系(造船、船社、船級協会など)の企業の担当者に一堂に集まっていただき、それぞれの企業活動の説明をしていただきます。外からはよく見えない社会の基盤を支える活動などがよくわかり、将来の進路や就職活動の参考になります。

### 夏の学校

全国の大学や研究所から講師を招き、夏休みを利用して宿泊しながら日頃の大学の講義より時間をかけて詳しく講義していただきます。学問に対する理解が深まるだけでなく、全国レベルで人の輪を広げることができます。

### スポーツ大会

勉強だけじゃつまらないですね。汗を流し、酒を酌み交わし、夢を語り合うのも大切です。

\*)日本船舶海洋工学会には、東部支部、関西支部、西部支部の3つの支部があります。どの支部に所属するかは、所属する組織(企業や大学)もしくは住所で決まります。どの支部に所属しても、会員が受けるサービスとステータスは全く同じです。関西圏の大学に在籍する学生は、関西支部に所属することになります。



## 学会誌「KANRIN (咸臨)」

— 知への欲求を満たします —

学会誌の特集や解説は、学術記事として内容が充実しているだけでなく、学部レベルの大学生が内容を十分に理解できるように工夫されています。学生自身が紙面づくりに参加することもあります。年6回発行され無料で配布されます。船舶海洋工学は、船を造る技術だけでなく、海上輸送、海洋資源の開発、海洋機器の技術、海洋環境の問題まで、「海」に関する幅広い分野をカバーしています。これらの情報をタイムリーに総合的に入手するのは、なかなか容易ではありません。本誌はその手助けとなるでしょう。

### 2007/1 発行(第10号) 目次一部抜粋

- 特集 南極
  - \* 第1章 南極観測船における技術の変遷
  - \* 第2章 南極観測船「しらせ」船上における海洋・海水観測
  - \* 第3章 南極から地球の気候変動を探る
  - \* 特別寄稿 光の中で生まれたら - 第30次南極観測隊員との回想記 -
- シリーズ
  - \* 造船所のかっこいいオヤジ
  - \* 学生突撃レポート

